

2025 年 カトリック大阪高松大司教区

平和月間

開催案内集

平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



戦争の拒否と平和の追求

戦争を拒否し、平和を求める運動はカトリック教会の必須の課題です。それが深く意識されるようになったきっかけは、教皇ヨハネ・パウロ二世が、1981年2月25日に広島平和記念公園でなされた「平和アピール」でした。

教皇の「戦争は人間のしわざです。…戦争は死です」「過去をふり返ることは将来に対する責任を担うことです」などのメッセージに応えようと日本のカトリック教会は、まず社会司教委員会から「平和と現代の日本のカトリック教会 教皇『平和アピール』に答えて」（1981年7月）が、続いて司教団からも司牧教書「平和への望み—日本のカトリック教会の福音的使命」が発表されました（1983年7月9日）。

そこで日本のカトリック教会が今日の緊急課題として挙げたのは、核戦争と軍拡の脅威、先進国と発展途上国の経済的格差、国家内の対立・抗争など平和の危機でした。そのために、カトリック教会は、日本が引き起こした戦争への反省に基づき平和への決意をあらためて確認し、また原爆被爆国であり、平和憲法をもって戦争を放棄した日本のカトリック教会にとっての責任と課題を明確にしました。「平和と現代の日本カトリック教会 教皇『平和アピール』に答えて」は「日本カトリック教会は日本国民が名誉にかけて誓ったこの平和の理想を『時のしるし』としてとらえ、平和への貢献を神のみ旨としてとらえ、決断と勇気をもってこの使命を実行に移さなければならないと思います」と訴えます。

このような自覚に基づき、86年に東京で開かれたアジアの司教が集まる会議で、白柳誠一大司教は戦争責任を次のように告白し、二度と同じ過ちを繰り返さないと反省の意を明らかにしましたが、これは戦後の日本の教会の平和への思いの原点であると言えるでしょう。

私たち日本の司教は、日本人としても、日本の教会の一員としても、日本が第二次世界大戦中にもたらした悲劇について、神とアジア・太平洋地域の兄弟たちに赦しを願うものであります。

私たちは、この戦争に関わったものとして、アジア・太平洋地域の2千万を越える人々の死に責任を持っています。さらに、この地域の人々の生活や文化などの上に今も痛々しい傷を残していることについて深く反省します。

*この文章は、日本カトリック正義と平和協議会50年記念誌『「正義と平和」の50年』9p～10P「憲法—正平協の憲法を守るための働き」光延一郎（日本カトリック正義と平和協議会専門委員 イエズス会）より引用させていただきました。

教皇ヨハネ・パウロ二世 広島『平和アピール』抜粋

- ・「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。」
- ・「過去をふり返ることは将来に対する責任をになうことです。…広島市と日本国民は、『自分たちは平和な世界を希求し、人間は戦争もできるが、平和を打ち立てることもできるのだ』という信念を力強く表明しました。この広島から、この広島でのできごとの中から『戦争に反対する新たな世界的な意識』が生まれました。」
- ・「核戦争の恐怖とその陰惨な結末については、考えたくないという人がいます。当地でのできごとを体験しつつも、よく生きてこられた人々の中にさえ、そう考える人がいます。また、国家が武器を取って戦い合うということ、実際に経験したことのない人々の中には、核戦争は起こりえないと考えたがる人もいます。さらに、核兵器は力の均衡を保ち、恐怖の均衡を保つため、いたし方のないものだとする人もいます。しかし、戦争と核兵器の脅威にさらされながら、それを防ぐための各国家の果たすべき役割、個々人の役割を考えないで済ますことは許されません。」
- ・「過去をふり返ることは将来に対する責任をになうことです。1945年8月6日のことをここで語るのは、われわれが抱く『現代の課題』の意味を、よりよく理解したいからです。あの悲劇の日以来、世界の核兵器はますます増え、破壊力をも増しています。」
- ・「わたしが国連総会で述べたことを、ここに再び繰り返します。各国で、数多くのより強力に進歩した兵器が造られ、戦争へ向けての準備が絶え間なく進められています。それは、戦争の準備をしたいという意欲があるということであり、準備が整うということは、戦争開始が可能だということを意味し、さらにそれは、あるとき、どこかで、なんらかの形で、だれかが、世界破壊の恐るべきメカニズムを発動させるという危険を冒すということです。」
- ・「広島を考えることは、核戦争を拒否することです。広島を考えることは、平和に対しての責任をとることです。」
- ・「戦争という人間がつくり出す災害の前で、『戦争は不可避なものでも必然でもない』ということ、われわれはみずからに言い聞かせ、繰り返し考えてゆかねばなりません。」
- ・「イデオロギー、国家目的の差や、求めるものの違いは、戦争や暴力行為のほかの手段をもって解決されねばなりません。人類は、紛争や対立を平和的手段で解決するにふさわしい存在です。」
- ・「この地上の生命を尊ぶ者は、政府や、経済社会の指導者たちが下す各種の決定が、自己の利益という狭い観点からではなく、『平和のために何が必要かを考慮してなされる』よう要請しなくてはなりません。目標は、常に平和でなければなりません。」
- ・「正義のもとでの平和を誓おうではありませんか。」
- ・「今、この時点で、紛争解決の手段としての戦争は許されるべきではないという固い決意をしようではありませんか。」
- ・「人類同胞に向って、軍備縮小とすべての核兵器の破棄とを約束しようではありませんか。」
- ・「自ら平和を学び、平和の教育をしようではありませんか。」
- ・「窮乏の中にある兄弟姉妹に手をさし伸べ、空腹に苦しむ者に食物を与え、家のない者に宿を与え、踏みにじられた者を自由にし、不正の支配するところに正義をもたらし、武器の支配するところには平和をもたらし、そうではありませんか。」
- ・「われわれの力をはるかに超える神の力によって勇気を持つようではありませんか。」
- ・「神よ、わたしの祈りの声を聞いてください。それは、個人や国家の間のあらゆる紛争や暴力の犠牲者たちの声だからです。」

(広島にて 1981年2月25日)

2025 年 沖縄慰霊の日 司教メッセージ ウェイン・バーント司教
『沖縄を戦場から非武装中立平和特区へ』

今年はアジア太平洋戦争終結 80 周年の節目の年です。この日、沖縄とアジア各地で亡くなったすべての犠牲者の永遠の安らぎを祈り求めます。

ここ沖縄では、敗戦から 80 年間、何度も繰り返されてきた「二度と繰り返さない!」「二度と繰り返させない!」という言葉が、いまだに繰り返し叫ばれ続けています。

沖縄は、「ありったけの地獄を集めた」と言われる戦場のありとあらゆる醜さや残忍さ、人間性の喪失、あらゆるものの破壊の体験から、戦争の愚かさ、かけがえのない命の尊さ、そしてすべてのものに命を分け与える自然の尊さを学びました。このことから、私たちはすべての戦争を完全に否定し、拒否する方法を求め続けてきました。

しかし、こうした沖縄の願いとは裏腹に、近隣諸国の脅威を理由に、再び戦争への備えを強いられ、戦闘終結後も続く軍事に伴うあらゆる人権侵害と人間の尊厳を踏みにじる行為に いまだにさらされ続けています。特に最近、強引な要塞化が県全体におよび、自国とその同盟国によって自治権が侵害され、再び戦場とされるのを拒む沖縄の民意と人権そのものが無視されているのです。

私たちがこの「慰霊の日」を設け、すべての戦争の犠牲者を追悼するのは、単に追悼儀式としてではなく、犠牲とされた命の苦しみと悲しみを二度と繰り返さないため、そして、亡くなった人々の無念と悔悟、苦悩や悲痛に応えて、不戦の誓いを新たにし、真の平和を希求するためです。

カトリック那覇教区は、不戦の誓いを果たし、自治権の完全な回復を実現する具体的な手段として、沖縄が非武装中立平和特区となることをここに提案します。これにより軍事基地に起因するすべての人権侵害と軍備の拒否を成し遂げ、もう二度と、武装しない させないことで、沖縄が誰とも敵対することなく、すべての人と友愛関係を築き、相互交流の拠点、相互扶助の社会、人と自然の共生の場、いにしえからの理想である万国を結ぶ懸け橋『万国津梁』を実現することができるのです。大国間の覇権争いや敵対関係に巻き込まれることなく、どの国の人とも仲睦まじく、平和に生きてゆけるのです。

この提案を単なる夢物語と切り捨て、あざ笑う人がいるかもしれません。でも、これはわたし一人の考えではありません。これは、あまりにも残忍で汚辱にまみれた戦争の体験から、「二度とこのような思いを誰にもさせてはならない。」と願うすべての戦争犠牲者と戦争体験者の切実な思いであり、また、すべての生命とこの世界が、創造主から託された賜物だと信じる人々の願いでもあります。私たちはこれを信じ、目指すべき道だと確信します。

慈しみ溢れる父よ、この沖縄の地、またアジア各地、そして全世界の戦争犠牲者をかえりみてください。彼らの無念と悔悟をあなたの愛で癒し、慰めてください。その切なる願いを聞き入れ、今を生きるわたしたちに、彼らの悲願である愛と平和な世界を実現する使命をまっとうさせてください。

全人類の苦悩と死をその身にお引き受けになった御子イエスよ、互いに敵対する私たちを憐れんでください。徹底した非暴力をつらぬき、あらゆる悪意に対立することなくすべてを包み込んだあなたの愛を信じます。その愛と非暴力の道を歩ませてください。決して諦めることなく、沖縄をあなたの愛と非暴力の交わる場とすることができますように。

いのちの泉である聖霊よ、父と子の愛の溢れ出であるあなたご自身でこの世界を満たしてください。被造界への畏敬を呼び覚まし、その恵みを正しく分かち合わせてください。収奪のない、分かち合いの世界を目指し、すべてのものが満たされた地上の平和を実現できるよう、私たちを駆り立ててください。

わたしたちの主イエス・キリストによって アーメン。

平和月間 2025 に向けて

世界に目を向けると、国と国との戦争、他民族との争いの中で、圧迫を受けて、人間らしく生きるありかたを奪われ、尊厳を脅かされる人びとがあふれています。戦後 80 年を迎える日本では、戦火こそありませんが、いのちが軽んじられ、将来への不安を抱えた人が、世代を超えて多数となりつつあります。わたしたちはこれらの苦しむ人・悲しむ兄弟姉妹の声に無関心であってはなりません。

このような現代の情勢に鑑み、聖年でもある今年の平和月間のテーマを「希望と平和の巡礼者となろう～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～」といたしました。誰が私たちの隣人か。私たちは、どこで誰と正義と平和に根差した希望を分かち合うべきか。特に若い世代の人たち、外国からの移住者の人たちとも協働して、この平和月間を有意義に過ごすように願います。戦争が人間の「仕業」であるならば平和を打ち立てることも人間にはできるはずです。

大司教 前田万葉
大阪高松教区報 4 月号より転載

内 容

戦争の拒否と平和の追求

1981 年 教皇ヨハネ・パウロ二世 広島 『平和アピール』

2025 年 沖縄慰霊の日 司教メッセージ ウェイン・バーント司教

<大阪高松教区 行事案内-1>

※各地区、小教区の行事チラシを掲載しています

- ◆姫路地区 ◆神戸地区 ◆阪神地区 ◆北摂地区 ◆大阪北地区
- ◆大阪南地区 ◆岸和田地区 ◆和歌山地区 ◆香川地区 ◆徳島地区
- ◆高知地区 ◆愛媛地区

<大阪高松教区 行事案内-2>

※各地区、小教区の行事日程を掲載しています

- ◆神戸地区 ◆阪神地区 ◆大阪北地区 ◆大阪南地区 ◆和歌山地区
- ◆香川地区 ◆高知地区 ◆愛媛地区

※行事案内 1, 2 いずれも 2025 年 6 月 19 日（木）現在のものです

開催スケジュール

7月開催

6	日	北須磨、垂水、高槻、大阪田辺、紀南ブロック合同（新宮）
12	土	姫路地区合同（加古川）、神戸地区合同（神戸中央）
13	日	豊岡、垂水、たかとり、神戸中央、住之江、大阪生野、紀南ブロック合同（串本）
17	木	大阪梅田
20	日	姫路、武庫之荘、高槻、関目、紀南ブロック合同（田辺）
21	祝	阪神地区合同（夙川）、夙川
27	日	六甲、芦屋、甲子園、伊丹、関目、浜寺、中島町、紀南ブロック合同（龍神）

8月開催

2	土	姫路地区合同（相生）、番町、
3	日	豊岡、北須磨、住吉、夙川、園田、池田、高槻、大阪梅田、関目、今市、布施、枚岡、八尾、岸和田、貝塚、今治、紀南ブロック合同（御坊）、江ノ口
5	火	北須磨（～6水）、明石（～6水）
6	水	今治
9	土	姫路地区合同（姫路）、六甲、仁川、橋本
10	日	姫路東ブロック（加古川・西脇）、洲本、三田、神戸中央、阪神地区合同（仁川）、仁川、尼崎、千里ニュータウン、吹田、大阪梅田、関目、大東、香里、枚方、平野、藤井寺、なみはや、玉造、和泉、熊取、泉佐野、紀北、伊予三島、
12	火	徳島地区合同（徳島、～13水）
15	金	垂水、関目、今市、御坊、新宮、三本松、
17	日	北須磨、垂水、日生中央、茨木、大阪梅田、泉北、中村
24	日	高槻、堺、紀泉ブロック合同（泉南）、
30	土	六甲
31	日	鈴蘭台、宝塚、

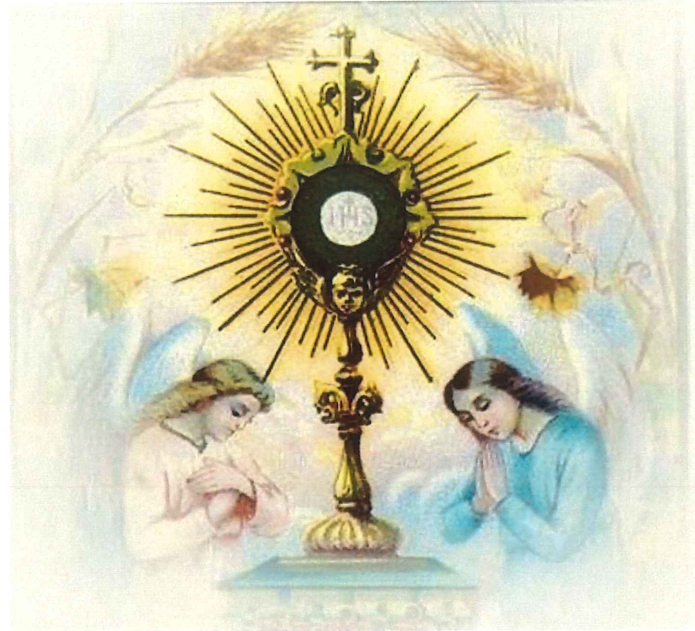


希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～
Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-



平和祈願ミサ及び聖体賛美式

希望の巡礼ー 世界3 聖母の出現地の黙想そして聖体顕示



加古川教会 ーグアダルーペの聖母

7月12日(土) 10:00 ～



相生教会 ー ルルドの聖母

8月 2日(土) 10:00 ～



姫路教会 ー ファチマの聖母

8月 9日(土) 10:00 ～



平和月間2025 大阪高松大司教区

平和旬間2025



希望と平和の巡礼者となろう～苦しむ人、悲しむ人と共に歩む道

Let's be Pilgrims of Hope and Peace.

A path to walk with people who suffer and grieve.

「世界平和の実現へ」

7月20日(日)

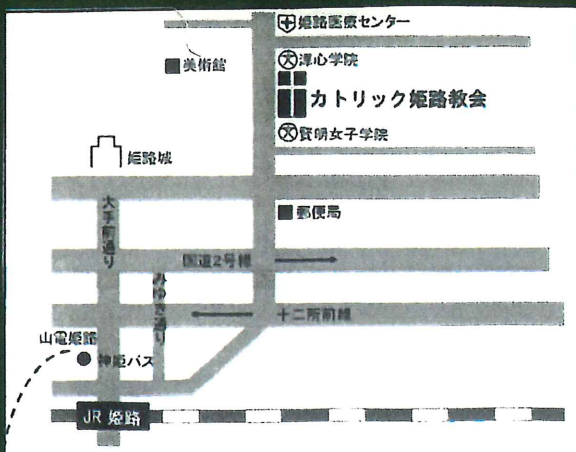
11時15分～12時15分

講師: **林勝美氏**

1942年6月4日生まれ 3歳2か月の時被爆
広島市で育ち学業終了後関西で就職
退職後、加古川被爆者の会に入会
現在まで語り部として小・中学校で活動
2024年ノーベル平和賞授賞式に参列

カトリック姫路教会聖堂

どなたでも参加できます。
入場無料





希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



第1回行事



◆日時：2025年7月13日（日）

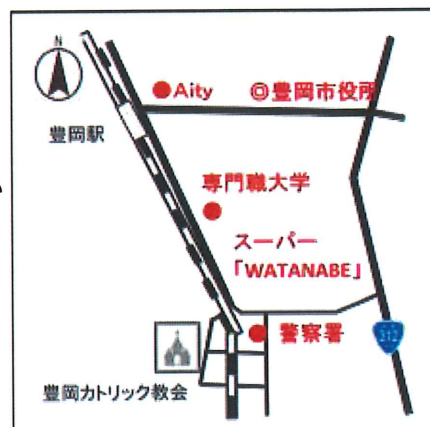
午前11時～午後0時30分

◆内容：DVD「あの日ーこの校舎でー五十年前に被爆したナガサキの記憶～」を鑑賞し、平和について分かち合いを行います。

◆場所：豊岡カトリック教会 多目的ホール

(TEL 0796-22-2018)

(FAX 0796-34-8110)





希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



第2回行事

争いのない世界への思いを語ろう



◆日時：2025年8月3日（日）

午前10時～午後0時30分

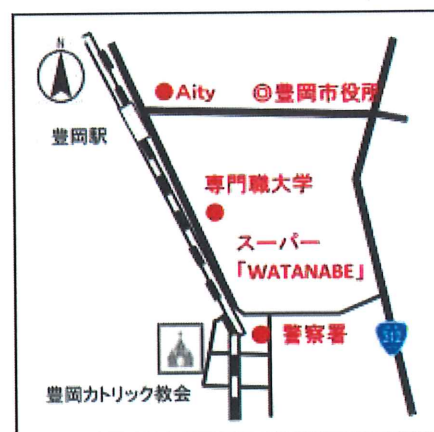
◆内容：①平和祈願ミサ

②前回DVD視聴後に配布したアンケート用紙に記述し、それを各自で発表し、分かち合いを行います。

◆場所：豊岡カトリック教会 多目的ホール

(TEL 0796-22-2018)

(FAX 0796-34-8110)





希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-



2025年姫路地区東ブロック平和月間行事

東ブロックテーマ

「飢えて死んでいく子ども達、戦争がなくなり、平和な世界になりますように祈りましょう」

"Let us pray for children who are dying of hunger, for the end of war, and for a peaceful world."

"Chúng ta hãy cầu nguyện cho những trẻ em đang chết đói, cho sự kết thúc của chiến tranh và cho một thế giới hòa bình".

プログラム内容

平和祈願ミサ

場所：カトリック加古川教会

日時：2025年8月10日（日）

午前9時30分 ～ 司式：カレンガ神父

ミサ内容

- 1, 平和についての説教
- 2, 「平和への祈りカード」をミサの中で奉納
- 3, 共同祈願の中で平和への祈願を唱える。

行事内容

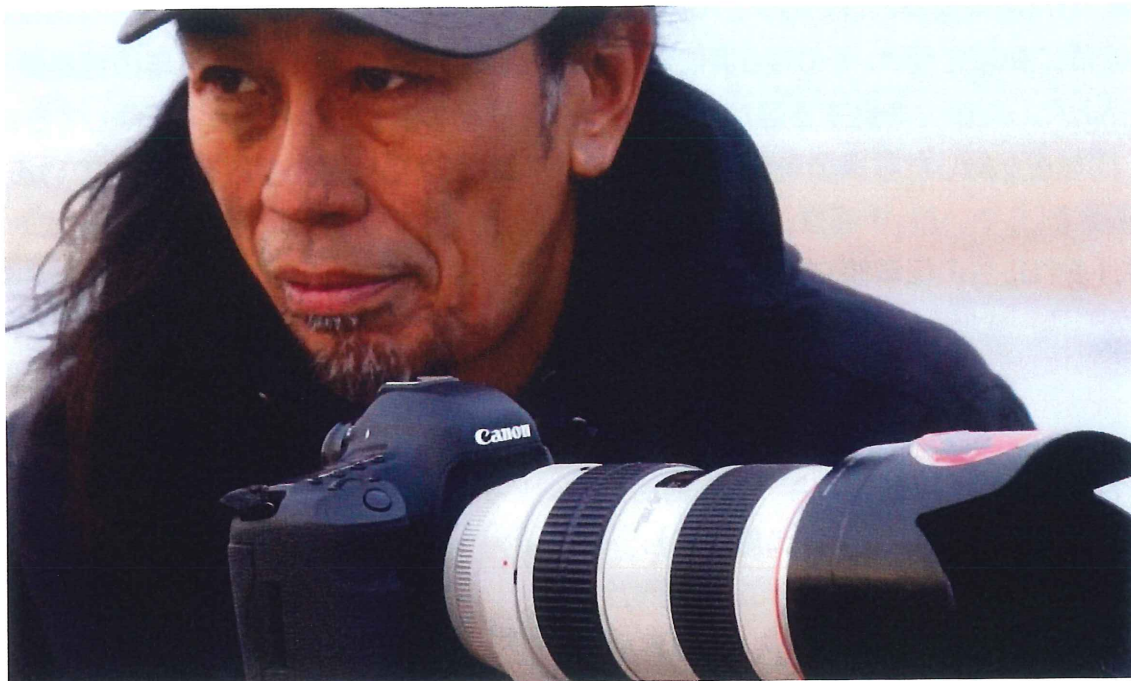
- 1, 信徒による「平和への祈りカード」の作成 → 8月10日ミサの中で奉納
→ボードに掲示して分かち合う。
2. ホール掲示板に80年前被爆した瓦（実物）展示
3. 「焼き場で順番を待つ少年の写真を展示



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



7月12日(土)13:00 ～ 16:00 (12:30 開場)

講演会「アートを通じて伝える原発事故」 13:00～14:30

講師 中筋 純 さん (写真家・おれたちの伝承館館長)

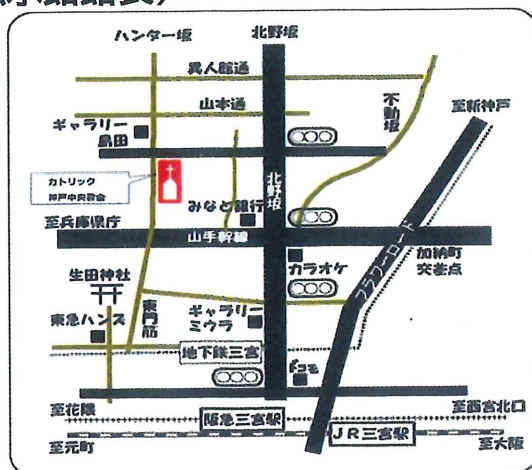
会場 カトリック神戸中央教会 集会室

平和祈願ミサ 15:00 ～ 16:00

司式 松永 敦 神父

会場 カトリック神戸中央教会 主聖堂
(ミサの献金は「おれたちの伝承館」へ寄付致します)

参加費 無料・申込み不要



主催：神戸地区社会活動委員会

問い合わせ：Mail: sinapiskobe@yahoo.co.jp

後援：ふっこうのかけ橋実行委員会

なかすじ じゅん
中筋 純 さん プロフィール

1966年和歌山県生まれ。八王子市在住。東京外国語大学中国語学科卒業。出版社勤務と平行して写真技術を習得。1995年中筋写真事務所設立。ファッション、舞台、映画、ドキュメンタリーの雑誌&広告企画で撮影を担当する傍ら日本の産業遺構にスポットを当て作品制作。

2007年10月産業遺構としてのチェルノブイリを取材。放射能汚染にて22年後もなお沈黙を続ける都市空間に衝撃を受け、その後6度に渡り訪問、数々の作品を残す。2011年の福島原発事故後には無人と化した街々の発する静かなメッセージを季節の変化に寄り添って記録してきた。

その後、両地を記録した写真展を全国展開。2017年からは福島原発事故を表現しているアーティストと協働で「もやい展」を運営。その進化系として、2023年福島県南相馬市小高区にもやい展の常設館、「おれたちの伝承館」を開館。現在館長業務に携わっている。

■著書

廃墟チェルノブイリ(2008年 二見書房)

チェルノブイリ春(2011年 二見書房)

流転チェルノブイリ(2014年 二見書房)

流転 緑の廃墟(2015年 アспект)

かさぶた The Silent Views 福島(2016年 東邦出版)

コンセントの向こう側(2021年 小学館)

■個展

2009年 「黙示録チェルノブイリ」/キヤノンサロン全国巡回

2011年 「黙示録チェルノブイリ 再生の春」/新宿ニコンサロン

2015年 「福島 Times & Seasons」/新宿西口プロムナードギャラリー

2016年 「The Street View. From Chernobyl to Fukushima」/銀座、梅田ニコンサロン

2016年-2021年

「The Silent Views. 流転 福島&チェルノブイリ」を全国40箇所にて開催

■グループ展

2017年 練馬区立美術館にて福島関連のアート展「もやい展」を主催

2019年 金沢21世紀美術館にて「もやい展」を主催

2021年 タワーホール船堀にて「もやい展 2021 東京」を主催

2022年 アートフォーラムあざみ野にて「もやい.next」を主催

平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



カトリック北須磨教会

『みんなで知ろう、 知って祈ろう』

「お母さん、お母さん」と泣きまわる女の子、子供の名を呼び続けてのたうち回る母親、・・・

「担架、担架」と叫んでうろろうする学生・・・ (永井隆著『長崎の鐘』より抜粋)

このような光景・子供の声は『長崎の鐘』にだけ書かれたことではなく、まさに今、ウクライナでパレスチナで、そしてロシアとイスラエルにおいて毎日現実となって現れている光景・声なのです。だから今、私たちは多様なメディアを通して過去の戦争体験を見聞きし、今、戦禍に巻き込まれている人々のために祈ることが大切なのです。

北須磨教会 平和月間行事

- ・ 平和関連図書コーナー開設 (7、8月中、永井隆、戦争関連の図書を陳列、貸出)
- ・ 7月6日(日)ミサ後(11時～) 『長崎の鐘』朗読会
- ・ 8月3日(日)ミサ後(11時～) 映画「ヒロシマナガサキ」上映会
2007年 スティーヴン・オカザキ監督
- ・ 8月5、6日 信徒の作成した千羽鶴を持って広島巡礼(有志)
- ・ 8月17日(日)10時～ 平和祈願ミサ



カトリック北須磨教会
アクセス⇒





希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～
Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-

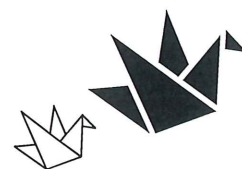


平和 について 考えよう 語りあおう！

わたしたちが 希望と平和 の巡礼者となるために at 垂水教会

● **7月6日(日) 開幕ミサ「平和は神の恵み、贈りもの」 10:00～11:00**

- *子どもと共に捧げるミサ
- *子どもたち、訪問先の高齢者の方々、シスター方、信徒の皆さんと作った 平和の鶴 を感謝と共に神さまに捧げます
- *子どもたちの アシジのフランシスコの平和の祈り
- *子どもたちが「世界の平和」のポスターを制作



● **7月13日(日) 平和について 分かち合いと祈り ミサ後 11:00～12:00**

- *歴代教皇の平和のメッセージについて学び、分かち合い、グループで協力して平和のポスターをつくります
- *平和の展示会 ～ 平和についての言葉やシンボル、ポスターの展示

● **8月15日(金) 聖母の被昇天 ミサ「マリアと平和」 ミサ 10:00～11:00**
ロザリオ 11:00～12:00

- *リビングロザリオ ～ ひとり一人がロザリオの玉になり、アヴェ・マリアを唱え、みなでロザリオ一環と花を聖母に捧げます



● **8月17日(日) 閉幕ミサ「平和は和解と連帯」**

- *多言語によるミサ International Mass 10:00～11:00
- *外国人、日本人と共にする 茶話会 11:00～12:00





希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-



カトリック鈴蘭台教会 平和月間行事

日 時 8月31日(日・ミサ後) 11時より

場 所 カトリック鈴蘭台教会 聖堂 (神戸市北区鈴蘭台西町1-23-1)

内 容 講演会

「戦禍のウクライナを子供のために日本に逃れ、
神戸でバレエを教えるヴィクトリアさんとボグダンさん。
現在の心境について」

ウクライナから神戸市北区に避難されているヴィクトリア・コスチュチェンコさんとボグダン・チャバニョクさんにお越しいただき、講演や質疑応答を実施していただく予定です。なお、2年前にも同様の企画で当教会にお招きし、今回が2回目になります。まだまだ戦火が止まない故郷ウクライナのこと、日本でのその後の生活のこと等をお聞かせいただくとともに、質疑応答などを通じて「平和についての分かち合い」をいたしたいと考えています。

(前回、来日から日が経っておらず英語での対応となりましたが、今回は通訳なしでの日本語でご対応がいただけるということです。)

* 参加費は無料です。どなたでも自由にご参加いただけます。



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



カトリック神戸中央教会 平和月間行事

7 月 13 日(日)

10:00 平和祈願ミサ (日英バイリンガル) 主聖堂

11:30 頃～(90 分) 映画上映会 集会室

「壊された 5 つのカメラ パレスチナ・ビリンの叫び」

◎平和ツリーの展示 7 月 13 日(日)～8 月 31 日(日)

☆映画上映終了後にポストイットに平和メッセージや祈りを書いて頂き
ツリーに貼り付ける。

8 月 10 日(日)

平和祈願ミサ: 9:30 (日本語) 主聖堂

原爆や戦争で亡くなった方の追悼を行います。

司式: ブレイズ神父

◎「へいわってすてきだね」の絵本の読み聞かせ

10:40 頃～ 集会室

カトリック神戸中央教会

TEL 078-221-4682

アクセス JR三宮駅から 800m

平和月間テーマと趣旨について

希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

let's be pilgrims of Hope and Peace

— A path to walk with people who suffer and grieve —

今年から大阪高松教区は、従来の10日間の平和旬間を拡張し7～8月の2か月にわたる「平和月間」を新しく設けることになりました。このため、ゆとりをもって計画を立てられ、他教会の企画に参加する可能性も広がると思います。「日本カトリック平和旬間」は「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことです。」という聖ヨハネパウロ二世の広島平和アピールを受けて始まりました。「戦争は人間のしわざ」であるなら、戦争を終わらせ、人間の尊厳にもとづいた平和な世界を作る力もまた、私たち人間は持っていることを信じて歩み続けたいと思います。

2025年2月8日全地区宣教評議会代表者会議より抜粋

7月13日(日) 11:30～ DVD上映 90分

場所: カトリック神戸中央教会 集会室

Five Broken Cameras

「壊された5つのカメラ パレスチナ・ビリンの叫び」 ご案内

2005年、パレスチナの民衆抵抗運動の中心地、ビリン村に住むイマード・ブルナートは、末っ子の四男ジブリールの誕生を機にカメラを手に入れ、はからずも村の記録者となります。

そんな中、ビリン村ではイスラエル軍による自爆攻撃を防ぐという名目で「分離壁」が築かれ、村の耕作地を強制的に奪われる。それに怒った村人たちは、毎週末、非暴力のデモを続け、イマードはそれを記録する。デモの際の銃撃などで彼のカメラは幾度となく壊れるが、そのたびに新たなカメラを手に入れ、5年間でのべ5台のカメラが、息子の成長、友人たちの闘い、そして拡大していく入植を、克明に切り撮っていきます。この作品は2011年11月アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭で観客賞・審査員特別賞のダブル受賞を皮切りに、世界の映画祭で受賞を受けた作品で、パレスチナがなぜこのような状況に至っているかを知る上で非常に貴重なドキュメンタリー映画です。ぜひ、多くの方にご覧になって頂き、現地の実情と平和について考えていただくきっかけになればと願っております。

平和月間 2025 十 カトリック大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう
— 苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道 —

Let's be Pilgrims of Hope and Peace
— A path to walk with people who suffer and grieve —



講演会

ガザとシリアの今から 世界の今後を考える

8月9日 土

14:00～16:00〈受付開始 13:30～〉

講演後、短い祈りの集いがあります。

六甲カトリック教会

阪急六甲駅から
北へ徒歩約10分



講師

西谷 文和氏



ヘルソン 中央市場前で

Radio On The Street



〈経歴〉

1960年京都市生まれ。立命館大学中退、大阪市立大学経済学部卒業。

吹田市役所勤務を経て、2004年末からフリージャーナリスト。

主にアフガニスタン、ウクライナ、パレスチナ、シリアなどの紛争地を取材し、テレビや新聞で現地情報を伝えている。

テレビ朝日系列「報道ステーション」「大下容子ワイドスクランブル」、関西テレビ「ニュースランナー」、インターネットTV「デモクラシータイムズ」など出演多数。

2019年5月から「路上のラジオ」をネット配信している。 <https://www.radiostreet.net/>

著書に『イスラエル、ウクライナ、アフガニスタン』『西谷流地球の歩き方 上・下』（かもがわ出版）、『お笑い維新劇場』（平凡社新書）、『行ってはいけない大阪危険万博』（せせらぎ出版）などがある。

事前申込みは不要、どなたでもご参加ください。

【お問い合わせ】六甲カトリック教会 ☎ 078-851-2846



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

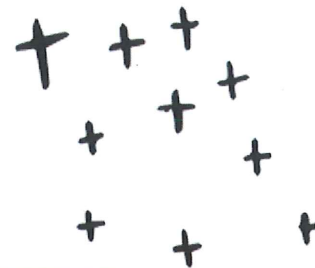
Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



六甲カトリック教会

平和を祈る
テゼの集い



Tairé Prayer



主催：六甲教会
担当：渡辺神父
協力：音楽チーム

8月30日 土 19:00-19:40
(18:00:サ後)

場所

六甲カトリック教会
主聖堂

(神戸市灘区赤松町3-1-21)

対象

どなたでも
(事前申込不要)



テゼとは短く単純な歌詞を繰り返し歌う祈りです。
世界平和を願いながらともに歌い、祈りましょう。

大阪高松教区 阪神地区

平和 月間 2025



私たちは今、世界が様々な不安と分断にさらされる中で、改めて「平和とは何か」「いのちの尊さとは何か」を問い直す刻を迎えています。大阪高松教区では、2025年度の平和月間を7月と8月に決めました。阪神地区では、6月23日の「沖縄慰霊の日」を祈念し、6月～8月にかけて3つの取り組みを予定しております。ひとりひとりの学ぶ、祈る、考える、という行動が、やがて世界を変える大きな力となります。どうぞ心を合わせて、ご参加下さい。

6月22(日)14:00～ カトリック芦屋教会
戦争体験を元にした紙芝居「いくさの少年期」口演と沖縄戦DVD鑑賞

7月21(月・祝)10:00～ カトリック夙川教会
酒井補佐司教 司式。阪神地区の司祭と共に平和祈念ミサを捧げます

8月10(日)10:00～のミサ後 カトリック仁川教会
核なき世界への実現に向けて私たちにできること～専門家による講演

学ぶ

6月22（日）14:00～
カトリック芦屋教会



奈良市在住の弁護士・田中幹夫さんの戦争体験を元にした紙芝居
「いくさの少年期」をプロのナレーターが演じます。
また、長年沖縄へ平和学習の旅を続けている川邨神父の講話と共に
沖縄戦DVDを鑑賞します。「沖縄を知ることとは戦争の本質を知ること」
戦争のリアルを知り、学び合いましょう。

祈る

7月21（月・祝）10:00～
カトリック夙川教会



酒井補佐司教 司式。
大阪高松教区・阪神地区の司祭が一同に会し
平和祈念ミサを捧げます。共に祈りましょう。

考える

8月10（日）10:00～のミサ後
カトリック仁川教会



日本被団協がノーベル平和賞を受賞し
フランシスコ教皇も「核なき世界」への
祈りと希望を強く訴えられました。
その実現に向けて私達にできることは何でしょうか。
専門家を交え、ともに考えるひとときを持ちましょう。

各教会へお越しの際は、できるだけ公共交通機関をご利用くださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

主催／カトリック大阪高松大司教区 阪神地区

カトリック芦屋教会 カトリック夙川教会 カトリック甲子園教会
カトリック仁川教会 カトリック宝塚教会 カトリック伊丹教会
カトリック武庫之荘教会 カトリック園田教会 カトリック尼崎教会



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



カトリック司教団はヨハネパウロⅡ世の訪問を機に8/6日の原爆投下から8/15日の終戦迄を平和旬間と定め各地で祈りと行事を行ってきました。今年は多くの方が各地の行事に参加できるように期間を7/1日から8/31日迄とし、芦屋教会では下記要綱で講演会を開催いたします。

講演会

日本被団協ノーベル平和賞受賞！

「核兵器廃絶へ 被爆者として生きて80年」

講師 千葉孝子 芦屋市原爆被害者の会会長

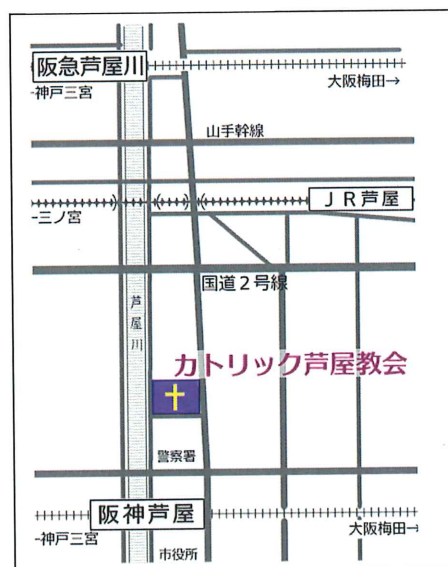
兵庫県原爆被害者団体協議会 常任理事

開催日時:2025年7月27日 10時半(ミサ終了後)

場 所 : カトリック芦屋教会聖堂

2024年のノーベル平和賞を日本被団協が受賞した理由は、証言を通じて核兵器のない世界の実現を目指して尽力し、核兵器が二度と使用されてはならないことを示してきた事でした。被爆体験を伝えることで、核兵器を無くしていくためにどうしたら良いかを世界中の人々が話し合う事が求められています。今年の平和旬間に合わせて体験者の話を聞き、脅かされている平和について考えてみてください。

会場アクセス





平和月間 2025 大阪高松大司教区

希望と平和の巡礼者となろう ～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace -A path to walk with people who suffer and grieve-



伝え継いでいく とき あの夏 忘れてはならない

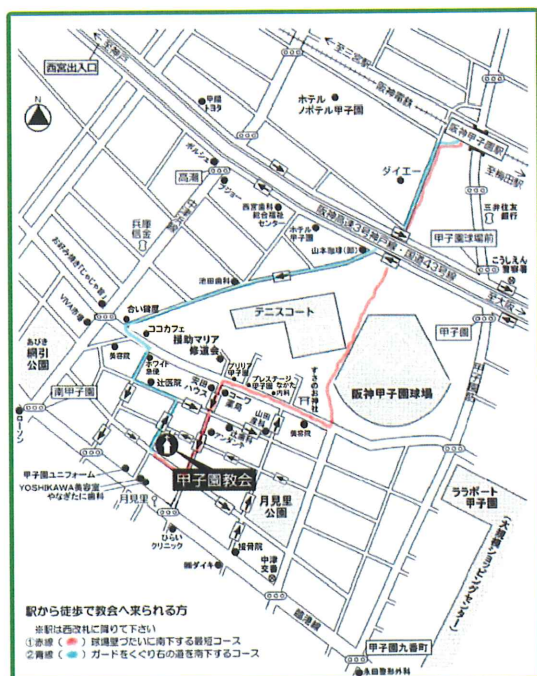


原爆の恐ろしさを語り継ぎ、
核兵器のない世界を見届けたい！

西宮市原爆被害者の会 証言&講演会

2025 年 7 月 27 日 (日)

主日ミサ後 10 時半より (1 時間ほど)



◎原爆体験詩 朗読 (当時の小・中学生)

◎武居 ミツ子さん体験記

◎紙芝居 (瞳の中の子どもたち)

◎西宮市民の戦争体験記



主催：カトリック甲子園教会 社会活動委員会



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



2025 カトリック夙川教会 平和月間行事

7月21日(月祝) 場所 カトリック夙川教会 聖堂

10:00

阪神地区共同平和祈願ミサ「希望の巡礼者」

司式 酒井補佐司教 (阪神地区宣教評議会主催)

11:30～12:30

被爆バイオリンで奏でる平和への祈り コンサート♪

被爆2世のお話

8月3日(日)

場所 カトリック夙川教会 ブスケホール(地下聖堂)

11:30

ドキュメンタリー映画上映会

『8時15分 ヒロシマ 父から娘へ』 上映時間 約60分

広島に投下された原子爆弾を至近距離で被爆した父の壮絶な体験を映画化。

地獄のような状況にあっても生きることを諦めなかった父の思いと、娘へ受け

継がれた平和へのメッセージを描く。心に沁みとおる言葉の数々をお届けします。



連絡先 カトリック夙川教会

Tel: 0798-22-1649



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



仁川教会 平和月間 祈いの時を共に 2025



原爆忌 弔鐘



8月6日(水) 8時15分 広島原爆忌

8月9日(土) 11時2分 長崎原爆忌

聖堂では、原爆犠牲者のために祈り、平和への誓いを新たにします。

平和祈願ミサ

8月 9日 (土) 17時～

8月 10日(日) 7時～

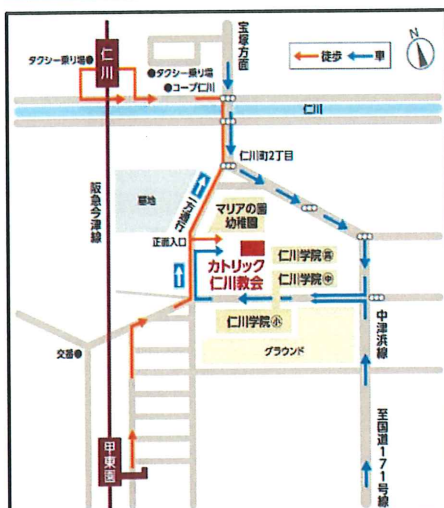
8月 10日(日) 9時～(国際ミサ)

10時30分～12時 平和学習講演会

(阪神地区社会活動連絡会主催)

講師: 被爆体験伝承者

(講師は、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館から派遣されます。)



被爆から80年、終戦から80年。
軍拡に向かい「第二の戦前」とも呼ば
れる今こそ、平和への思い・平和への
道をご一緒に！



阪急甲東園駅または仁川駅から約 500m。

「仁川学院」、「マリアの園幼稚園」が目印。

駐車場あります。

西宮市段上町 4-2-11 ☎0798-51-0176

平和月間 2025 大阪高松大司教区

希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-



ベトナム、そして日本から平和への思いを込めて。

日時 7月20日(日)

09:30～平和祈願ミサ。

ミサ中、手織り折鶴奉納

10:45～講演会

ベトナム難民移住 50 年に際し
今後の移民問題に関して。

講師 グエン・フィ氏

(園田教会所属)

講演会終了後、分かち合いの為のお茶会

カトリック武庫之荘教会

〒661-0035 尼崎市武庫之荘3-5-9

☎06-6431-7029



2025 年度 平和旬間 に向けて

武庫之荘教会

7月20日(日) 平和祈願ミサ(9:30～ 講演(10:45～

講演 ベトナム難民移住50年 に際し・・・
今後の移民問題 に関して

講師 グエン フィ 氏 (園田教会所属)
*デジタルクリエイター

〈要旨〉

2025 年はベトナム難民船到着から 50 周年です。半世紀にわたってベトナム難民を受け入れてくれた国に感謝するため、「難民航海士とベトナム人が日本に感謝する日」が結成されました。90 年代後半、第 4 波のインターン、技術者、留学生とともに徐々にこの数字は上昇していた... 今日まで 50 万人以上。2025 年は、私たち一人一人が感謝の気持ちを伝えるこの上ない機会です。私たちはできるだけ多くの関係者の日本の恩人、組合、機関を招待して、直接称え、彼らに伝えようと努力します: それだけでなく、もともと愛を意味する国家であるベトナム人の威信を高めるイベントになります。

日本人にとっては、難民に対する思いや政策が報われたことを、見極めるイベントになるでしょう。さらに、このイベントは、日本政府が世界中の難民支援に向けた将来の施策を研究する貴重な参考にもなることをねがいつつ・・・

希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

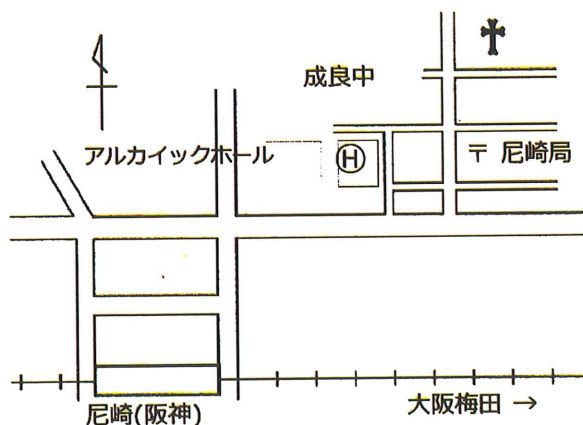
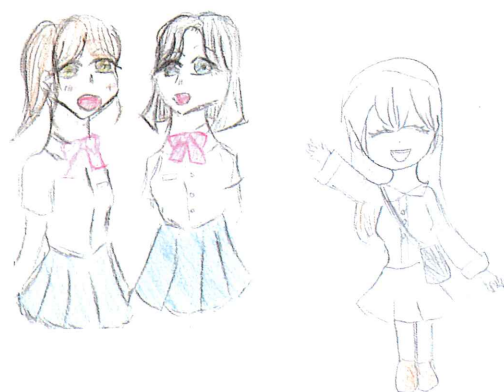
-A path to walk with people who suffer and grieve-



8/10 (日) デリア・ジョヴァンニ神父司式

9:30 平和祈願ミサ

- ①平和に関する祈りとロザリオ一連を全員で唱える
- ②平和に関する共同祈願を追加する
- ③子どもたちによる平和に関する展示
- ④子どもたちによる平和に関する聖歌の合唱



阪神尼崎駅から 730m、徒歩 14 分

JR 尼崎駅から 1300m、徒歩 24 分、または

「阪神尼崎」行きバスに乗車し「西長洲」

下車後東へ 400m、徒歩 7 分。

*連絡先 : カトリック尼崎教会

TEL.06-6481-4235

平和月間 2025 大阪高松大司教区

希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-



池田教会平和旬間行事

〈日時〉 2025年8月3日(日)9:00から

〈場所〉 カトリック池田教会

ミサ: 聖堂 講演会: カール記念館

〈プログラム〉 9:00～ 平和祈願ミサ

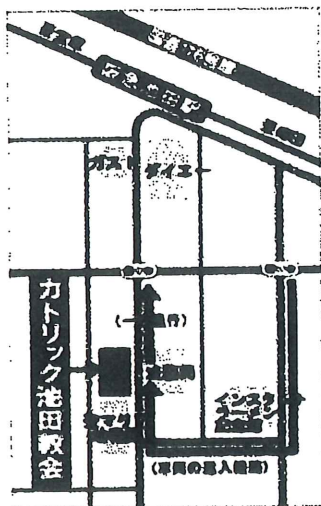
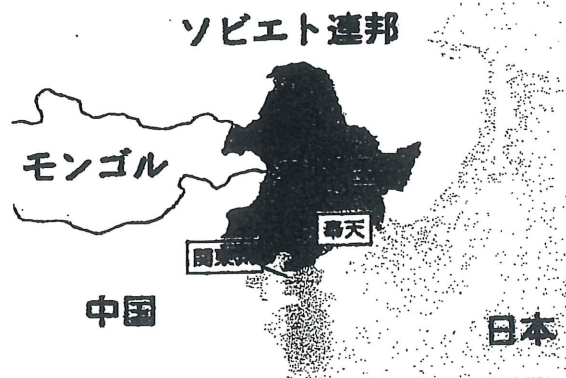
10:30～ 講演会

『終戦とともに始まった少女の戦争』

(旧満州からの帰国)

〈講演会講師〉 荘司幸子さん

※講演後、分かち合いを行います。



カトリック池田教会

阪急宝塚線 池田駅 徒歩6分

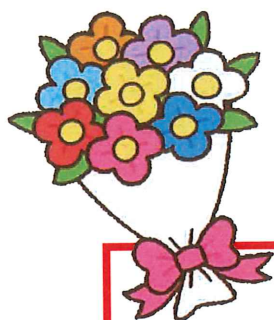


希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～
Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-



平和月間

《7/1～8/31》



平和のための祈りの花束と
平和祈願の葉の作成

平和月間行事

8月17日(日) 9:30～

- ① 「キリストの平和」を手話で合唱
- ② 「父ちゃん母ちゃん生きるんや」
～大阪西成こどもの里～DVD上映
- ③ 平和祈願ミサ

カトリック日生中央教会

〒666-0242

兵庫県川辺郡猪名川町原字焼山 597-4

TEL: 072-766-1519





《今年の平和旬間は「フーテンの寅さん」で》

講 師 米 田 彰 男 神父様(ドミニコ会)

日 時 6月 29 日(日) 9時のミサを司式、

ミサの後、約1時間ご講演予定

場 所 カトリック箕面教会 主聖堂

ドミニコ会の米田彰男神父様をお招きし、「寅さんとイエス」をテーマに身近なところから、平和とは何か、どんなことが平和を生み出すのか、私たちは平和のためにどんなことができるのか、学び考え、行動に移したいと思います。

米田神父様は「蟻の町」(東京都江東区)等で働かれた後、大学を卒業され、ドミニコ会に入会し司祭叙階。カナダのドミニコ会哲学神学院、スイスのフリブール大学等で哲学・神学・聖書学を学ばれました。2018 年まで清泉女子大学(東京都品川区)で教鞭をとられ、現在は京都市の聖トマス学院で教えておられます。

米田神父様は、映画「男はつらいよ フーテンの寅」シリーズ、全 50 作品をすべて何度も見ておられ、ここに描かれた寅さんとイエスの生き方を重ねておられます。

「男はつらいよ」シリーズ第十作「寅次郎夢枕」では、八千草薫さんが演じる千代に、「私ね、寅ちゃんと一緒にいると、何だか気持ちがホッとするの。寅ちゃんと話していると、ああ私は生きているんだあって、そんな楽しい気持ちになるの」と言わせ、「確かに、イエスと一緒に食事した者は誰であれ、日常の心配も吹っ飛び、時を忘れ明るく楽しい気分になり、特に毎日重苦しい暗い気持ちで暮らしていた、社会から差別され排除された人々の心には、再び生きる希望が蘇り、みなぎるを感じとったことだろう(著書「寅さんとイエス」133 ページ、改訂新版では 143 ページより)」と、神父様は述べておられます。



□ 米田神父様の主な著書

「寅さんとイエス」筑摩選書(1,980 円)

「イエスは四度笑った」筑摩選書(1,870 円)

「寅さんの神学」オリエンス研究所(1,210 円)

※ 神父様のご厚意により、当日講話に参加された方、先着100名様に「寅さんとイエス」をプレゼント!

駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関をご利用くださいますようご協力ください。

大阪高松教区では、毎年夏に平和旬間を設け各小教区でテーマを決めて平和関連行事を開催し学んでいます。今年度から平和月間として期間を広げ概ね7月から8月の約2か月間と変更になりました。

カトリック箕面教会 TEL 072-721-2734 箕面市坊島1-7-22





希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



高槻教会～社活カフェ平和月間シリーズ～

7/6

「海外生活を通してステレオタイプについて考える」

プレゼンター：川上^{にこる}二功桜さん

あなたは近隣の国々に対してどんなイメージを持っていますか？
留学体験などを通して、その国の人々と実際に交わることによって始めて
見えてきたことを分かち合いたいと思います。

7/20

「犯罪と社会～新しい刑罰の導入と社会復帰支援～」

プレゼンター：水藤昌彦さん

これまで、罪を犯して有罪となった人には禁固刑、または懲役刑が科せられてきました。それが拘禁刑という形に変わります。
なぜ変わるのか、背景にあるのは何か、司法福祉研究者のお話を聞きます。

8/3

「一匹の迷える羊に関わるということ」

プレゼンター：平野直子さん

残された99匹の羊はどうなるのだろう？ 聖書のたとえ話を通して、
私たちは日々出会う人たちとどうかかわっていけばいいのかを考えます。

8/24

「希望と平和の巡礼～青年の祝祭に参加して～」

2025年聖年「青年の祝祭」公式巡礼団に高槻教会から3名の青年が参加します。
彼女たちのヴァチカンでの体験を聞かせてもらいます。

いずれも

時間： 2ミサ後

場所： 右近会館 サロン



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



【カトリック茨木教会平和月間行事】

日 時：8月17日（日） 10:15～12:00 頃

場 所：カトリック茨木教会 聖堂

スケジュール：

10:15～ ロザリオの祈り

10:45～ 休憩・ミサ準備

11:00～ 年間第20主日のミサ（平和祈願ミサ）

司 式：下瀬 智久神父



問合せ先：カトリック茨木教会

電 話：072-622-4442

住 所：茨木市駅前 3-5-4

アクセス：

- ・阪急茨木市駅より JR 茨木駅方面へ約 900m
- ・JR 茨木駅東口より市役所方面へ約 600m

カトリック茨木教会
社会福音化推進委員会

平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



2025.8.6(水)～8.15 (金)

平和祈願ミサ

日時：2025年8月10日(日) 10:00～

場所：カトリック千里ニュータウン教会 聖堂

2025年カトリック千里ニュータウン教会テーマ

「主の平和を生きる」

「どこかの家に入ったら、まず『この家に平和があるように』
と言いなさい。平和の子がそこにいるなら、あなたがたの願
う平和はその人にとどまる。」(ルカ 10,5-6)



<教会へのアクセス>

〒560-0085 豊中市上新田 2-13-2
TEL (06)6832-1111 FAX(06)6833-6505

地下鉄御堂筋線・北大阪急行(江坂～千里中央)
「千里中央駅」から1.5Km
阪急千里線 「山田駅」から1.5Km
※千里中央・山田駅からバスが出ています。
いずれも「津雲台七丁目」下車 西へ



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



吹田教会平和旬間行事

苦しんでいる人々の平和のために祈りましょう！

- 【紛争によって、苦しむ人々、
悲しむ人々のために】
- 【自然災害によって苦しい思い、
悲しい思いをされている人々のために】
- 【家族や身近におられる方を
介護されている人々のために】
- 【何らかの理由で孤独になって、
さみしい思いをされている人々のために】



絶えざる御助けの聖母
私たちのために祈りください

平和を願う祈りや犠牲を捧げましょう。

日時：8月10日（日）10時～

内容：「平和祈願ミサ」
「詩の朗読と歌」

★高田敏子さんの詩「夕焼け」
♪ ありがとうの歌
♪ 上を向いてあるこう
♪ 水のころ（フォークミサ曲）

テーマ：さまざまな苦しみを持つ人々に平和

場所：カトリック吹田教会

吹田市出口町 17 - 21 阪急吹田駅より 400m

（問合せ：06-6388-1083）



平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



平和旬間行事2025
Peace Week Events

平和祈願ミサ

Holy mass for Peace prayer

8月17日(日)

英語ミサ (English Mass) 9:00

日本語ミサ (Japanese Mass) 11:00



日本語チーム

8月3日(日)
戦後80周年
あの日の話を
聴こう!!

Let's listen to the experiences
of atomic bomb survivors!

12:30～



英語チーム

8月17日(日)
平和についての
ビデオ鑑賞会

Let's watch the video
and think about peace!

9:00ミサ後



スペイン語チーム

8月10日(日)
スペイン語ミサ
(Spanish Mass)

15:00～



カトリック大阪梅田教会

住所：大阪市北区豊崎3丁目12-8 ☎ 06-6371-4060 アクセス：大阪メトロ御堂筋線中津駅4番出口から約300m



希望と平和の巡礼者となろう ～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



カトリック 関目教会 2025 年 平和月間

7月20日～8月15日

戦後80年見つめなおそう、そして希望ある平和な世界へ



◇7月20、27、8/3 「原爆詩集」(峠三吉) ミサ前に
各一編の詩の朗読

◇8/10 ミサ後平和を考えるつどい

「原爆詩人・峠三吉の願ったものは」

◇8/15 祈りの花束 奉納



ウクライナやイスラエル・ガザ地区での戦争は収束が見えず、
核兵器使用を脅しに使うなど国際 社会は、対立と分断、不安にさらされています。

そのような中、核廃絶を訴えつづけてきた日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。ノーベル財団は「生存者たちが、肉体的苦痛や辛い記憶にもかかわらず、大きな犠牲を払った経験を生かして平和への希望と関与を育むことを選んだことをたたえたい。」と授賞理由を述べています。

みんなで「平和とは何か」「命の尊さ」を考え直すときを迎えています。2025 平和月間を、関目教会では、戦後 80 年の節目の年にふさわしく、核廃絶を訴えつづけて きた日本被団協の活動に学び、「ちちをかえせ ははをかえせ としよりをかえせ こどもをかえ せ わたしをかえせ」で知られる「原爆詩人」の峠三吉の詩の朗読と彼の思いを学ぶ企画を考えました。



カトリック 関目教会

Tel: 06-6931-4807

アクセスなどはコチラの HP へ⇒ <https://sekime.crayonsite.net>





希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



< 平 和 旬 間 行 事 >

○8月3日(日) 原爆関連短編映画の上映会 11:20～

上映開始時間 11:20～11:50

<ナガサキの少女少女たち>

被爆50周年事業の一環として、長崎市民や修学旅行生等若い世代に原爆被爆の実相や原爆による人間性の破壊等を訴えるため、被爆直後の実写フィルムや被爆者の証言等をもとに制作された。

----- <または> -----

<あの日ーこの校舎で～五十年前に被爆したナガサキの記憶～>

被爆直後救護所となった新興善国民学校で、大勢の被爆者たちを看護した医療従事者や、惨状を体験した被爆者たちの証言をまとめた短編記録映画

※どちらか1本の予定(要望があればもう1本は3本目に上映)

上映開始時間 11:55～12:25

<つるにのって> (アニメーション映画)

夏休みのある日、広島の実験資料館を訪れた小学6年生のとも子は平和公園で不思議な少女サダコと出会う。そして、サダコの案内で不思議な冒険が始まる。 注2) 上映時間は全て30分程です

○8月15日(木) 9:30～聖母の被昇天ミサ(祈願奉納有ります)

カトリック今市教会

〒535-0001

大阪市旭区太子橋 1-1-27

電話 06-6951-5018 FAX 06-6956-0338

交通

地下鉄 谷町線「太子橋今市」駅(徒歩5分)

6番出口を出て西へ(約600m)

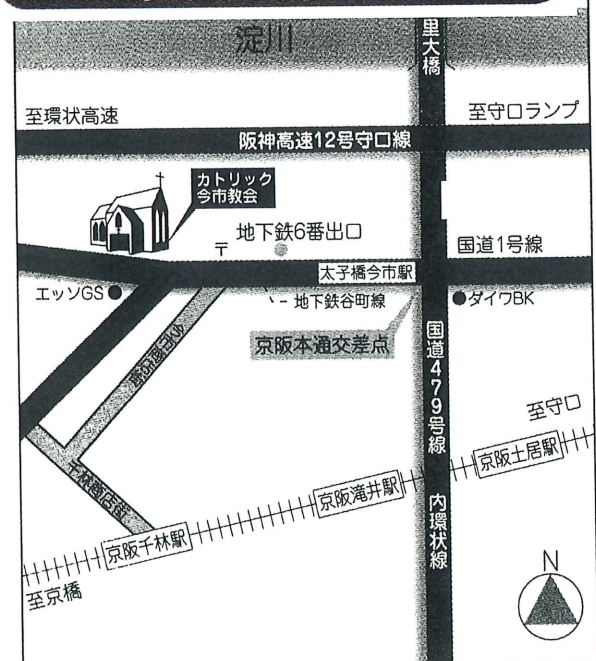
市バス 大阪駅前行き、守口車庫前行き

天満橋行き「今市」下車

(バス停の目の前です)

車 国道479号線(内環)京阪本通交差点西へ

今市教会周辺地図





希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



大東教会 サブテーマ

命に格差はない

タイトル : あなたは無料低額診療事業制度を知っていますか？

大東教会信徒 (医療生協組合員)

おはなし : 長谷川嘉美さん

日時 : 2025年8月10日(日) ミサ後 11時15分～

場所 : カトリック大東教会 聖堂にて

プログラム

- I 無料低額診療事業制度とは・・・
- II 医療生協での実態と体験
- III グループでの討議
- IV 茶話会(参加自由)

大東教会では今まで平和月間での取り組みとして難民支援について学んできました。
そしてほんの小さな支援ですが切れずに細く続けています。そのご縁から気づきがあり
自分たちのもっと身近な周囲の方々でも病気や貧困で困ってる方は居られるのではないかと
そのことに全く気づいていないのではないかと疑問を覚えるようになってきました。
無料低額診療について学ぶ機会があり、理解できれば身近な方にお伝えし必要な方が居られたら教える事
もできるのではないかと考え、今年の平和月間で 皆さんと分かち合い、共に考えたいと企画しました。



教会所在地 : 〒574-0011 大阪府大東市北条1-23-30
(1-23-30, Hojo, Daito-shi, Osaka, 574-0011, Japan.)

TEL : 072-876-5434

(交通機関) JR学研都市線 野崎駅下車 東口改札より徒歩6分





希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



ドキュメンタリー映画「決断」

2011年3月11日 東日本大震災 福島原発事故により自主避難という
人生最大の「決断」を迫られた ある10家族の証言

ドキュメンタリー映画『決断』



国境なきドキュメンタリー国際映画祭受賞

母たちは子を守りたかった

8月10日(日曜日)

聖堂にて

9:30～ 平和祈願ミサ
(ミサはどなたでも参加いただけます)

11:00～ 開演 ～スクリーン上映～
《ドキュメンタリー映画・決断
運命を変えた3・11母子避難》
監督 安孫子 亘



ご注意

※ 一般車両の駐車は出来ませんので
公共交通機関をご利用ください

※ 教会敷地内は禁煙です



カトリック香里教会

住所: 寝屋川市東香里園町 31-3 TEL: 072-834-3800



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-



カトリック枚方教会 平和旬間の集い

日時： 2025 年 8 月 10 日 (日)

13 時 ～ 14 時

開催場所： カトリック枚方教会 集会の家

内容： 絵本「戦争のつくりかた」 映写・朗読

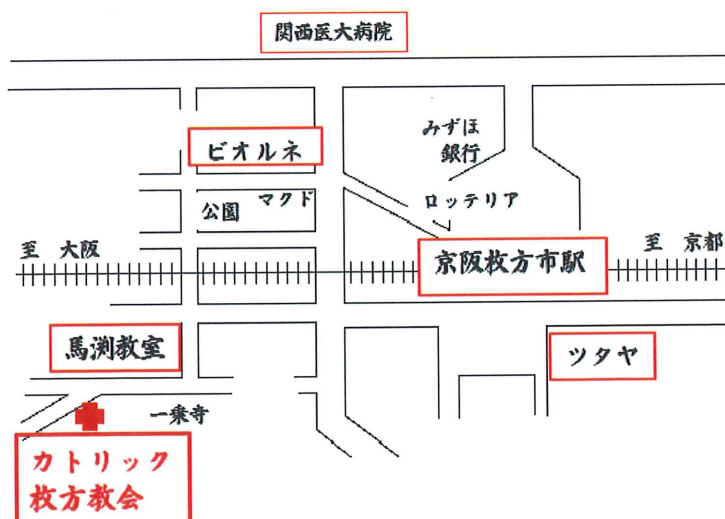


肩ひじ張った分かち合いでなく、

気楽に今の社会、私達のことを

おしゃべりしませんか。

(当日はパンとコーヒーのコーナーが開いています。)



カトリック枚方教会

住所： 枚方市 岡南町 3 - 1

電話： 072 - 841 - 5333

京阪枚方市駅から 400

m

前の道路は狭く、駐車場はありません。

公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

カトリック枚方教会 社会活動委員会

平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



平和月間行事

日時: 2025年7月6日(日)9:00～

場所: 大阪田辺教会聖堂

～上映会～

荒野に希望の灯をともす

～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～

～タイムスケジュール～

9:00～ 平和祈願ミサ

10:00～11:30 上映会

11:30～11:35 平和への祈り

11:35～11:50 アンケート記入

場所: カトリック大阪田辺教会

TEL 06-6692-2330

JR鶴が丘駅より徒歩8分



若い
みなさん

平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



今、平和ですか？

キリスト者として、何を考え、何をすべきか

2025年8月24日（日）

カトリック堺教会 聖堂

10：00～ 平和祈願ミサ

《松浦悟郎 名古屋教区司教様 司式》

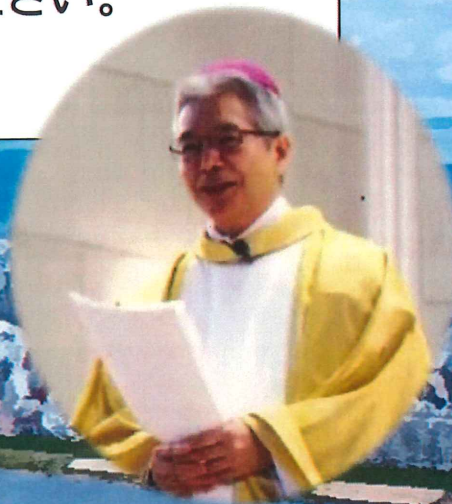
11：00～ 松浦司教様 講演会

& みなさんと意見交換会

12：30～ 交流会（教会ロビーにて）

※昼食は各自ご持参ください。

14：00 解散



カトリック堺教会（堺市堺区向陵中町6-2-3）

アジア・太平洋地域戦争犠牲者2000万人一人ひとりの冥福を祈る会 共催



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-



～ 2025年平和旬間 ～

□日時 2025年8月17日(日)ミサ後10時40分頃より

□場所 泉北教会 聖堂

□テーマ「ガザについて学び、分かち合い、祈る集い」

パレスチナの歴史,

閉鎖されたガザで今起きていることを知り

平和について考え、分かち合い、祈りの場を持つ

講師 西口信幸氏(カトリック夙川教会信徒)



知ることが第一歩。私たちにできる第一歩に是非ご参加ください

平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



カトリック枚岡教会 平和月間行事

2025年8月3日(日)

講演 「モザンビークの今、そして日本
のキリスト者にできること」

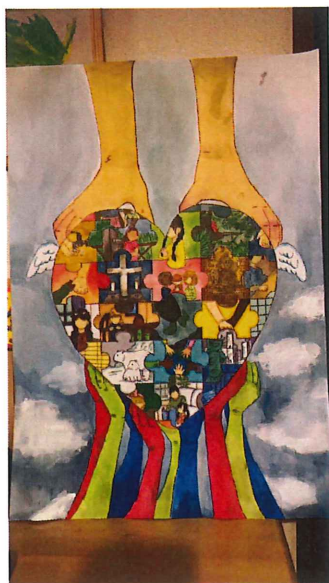
講師 イポリト・ウィダ神父

9:00～ 平和祈願ミサ

10:15～講演会

「モザンビークの今、そして日本のキリスト者にできること」

講師 イポリト・ウィダ神父(紀泉ブロック主任司祭)



カトリック枚岡教会
072-984-4831

アクセス

電車の場合

近鉄奈良線「瓢箪山駅」南口を出て、国道旧170号線を南へ900m。
「六万寺中」の交差点を左手(山手側)に曲がり、400m先の一つ目の信号を左折。

自動車の場合

水走インターチェンジから4km。

「被服団地前」の交差点を右折し大阪外環状線

を南へ。「六万寺」交差点を左折しその後二股に分かれた道の右側の道を直進し「縄手中学校南」交差点を右折し南へ。

「六万寺中」の交差点を左手(山手側)に曲がり、400m先の一つ目の信号を左折。

※駐車場あります。



平和月間 2025 大阪高松大司教区

希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



タイトル 大阪南地区 みなとブロック 住之江教会

「今、動こう。私たちの子供、 私たちの孫が戦争に 巻き込まれないために」

《皆さん、共に集い、考え、祈りましょう》

★ 日 時 2025 年 7 月 13 日 (日) (予定)
ミサ後 10 時 10 分～11 時 30 分

★ 場 所 カトリック住之江教会 (聖堂内)

★ 講演者 ビスカルド 篤子 様 (社会活動センター シナピス)

★ 連絡先 カトリック住之江教会 (電話番号 06-6681-1895)

平和を
守ろう



《講演内容》

「80 年間、どこにも侵略せず誰も殺さなかった日本社会。

この先もずっとそんな国でありたいと願いつつ

住之江教会の皆さんと、平和の巡礼者となれる道を探します。」

★ **＋ ～ 平和を祈る ～** ★★★★★ 《住之江教会の地図》



● 大阪メトロ 四つ橋線「住之江公園」駅下車 ①番出口 東へ 800 メートル

● 大阪メトロ バス①番出口「東地下鉄住之江公園」から「住之江区役所」下車 西へ 1 分程



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



「世界の平和へ、今こそ一歩踏み出す勇気を！」

声に出して分かち合う主の平和」

日時 8/10(日)12:15(予定)ミサ終了後～

場所: カトリックなみはや教会・聖堂内

登壇者: なみはや教会信徒、ほか予定

連絡先: カトリックなみはや教会 06-6551-6253

終了後: **茶話会を予定しています！**



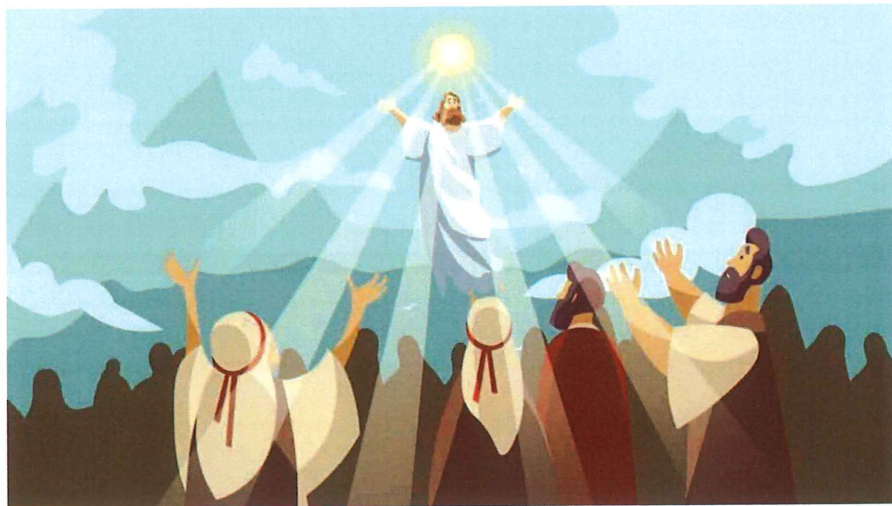
＜皆さん、ともに集い、考え、祈りましょう。そして声に出しましょう＞

【導 入】 詩の朗読(日本語+英語) ～ **子どもの合唱**

1 中国語メッセージ 2 ベトナム語メッセージ 3 日本語メッセージ

4 メッセージソング① 5 英語メッセージ 6 合唱 メッセージソング②

【閉 会】「平和を求める祈り」



大阪南地区 みなとブロック なみはや教会



希望と平和の巡礼者となろう ～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



カトリック玉造教会 平和旬間行事

テーマ：「私も巡礼者」 ～神様のもとでつながる私たち～

日時：2025年8月10日（日）

場所：聖堂

内容：「未来の平和をつくる子供たち」

展示：平和への思いのカードを平和の木としてエントランスに展示

奉納：折り鶴アートを奉納

カトリック玉造教会

〒540-0004

大阪府大阪市中央区玉造 2-24-22

電話：06-6941-2332

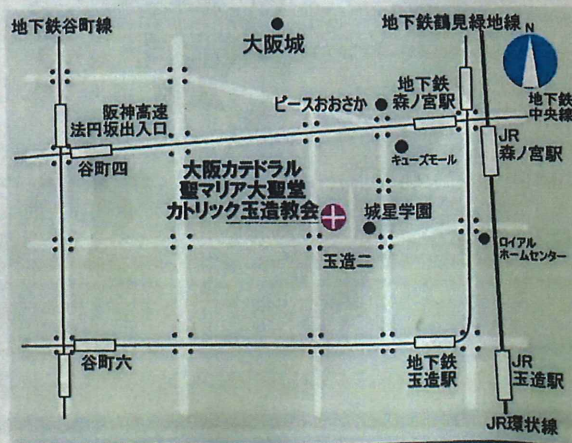


JR 玉造駅、JR 森ノ宮駅から 1000m

地下鉄玉造駅 1 番出口より 800m

地下鉄森ノ宮駅 2 番出口より 800m

アクセスマップ



徒歩・電車の場合

【森ノ宮方面から】

- JR環状線：森ノ宮駅から中央大通りを西南へ徒歩15分
- 地下鉄中央線：森ノ宮駅2番出口を出て西南へ徒歩10分
- 地下鉄長堀鶴見緑地線：森ノ宮駅7番出口を出て西南へ徒歩15分



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



2025 年 7 月 13 日 (日) カトリック生野教会

10:00～ 平和祈願ミサ 平和のメッセージカード奉納

11:30～ だからここで生きていく～共生のとりで 大阪・生野～

12:00～ 知っていますか？ハンセン病問題 (2本の上映会)

苦しむ人、悲しむ人とともに歩んでいきましょう

お互いを尊重して、だれもが安心して暮らせる社会を作りましょう

544-0011 大阪府大阪市生野区田島 1 丁目 16-10

北巽駅 3 出口から徒歩約 14 分 約 1 km

今里(近鉄線)駅出口から徒歩約 22 分 約 1.7 km

桃谷駅出口 1 出口から徒歩約 22 分 約 1.7 km



平和月間 2025 大阪高松大司教区

希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-



「ルーチェ (Luce・伊語: 光)」

聖年イメージ・キャラクター



テーマ「希望と平和の巡礼者として生きる」

日時 8月24日(日) 9:30～

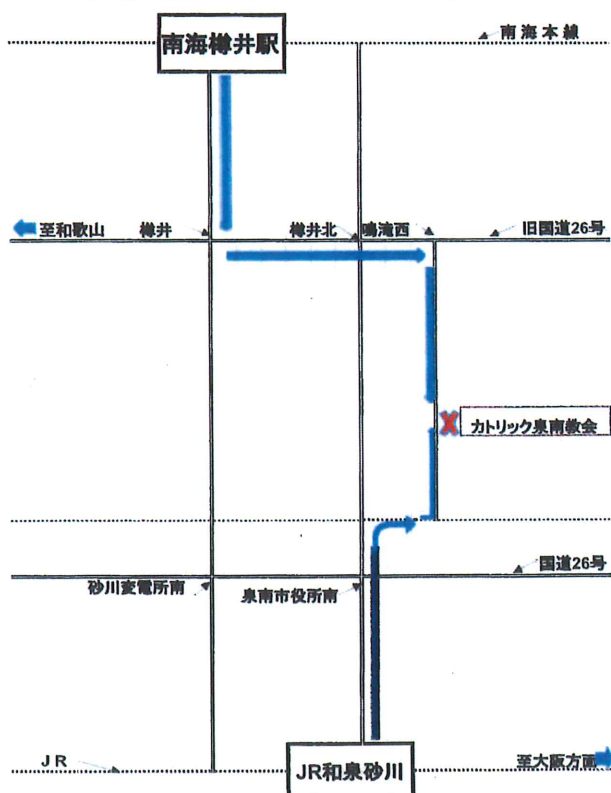
場所 カトリック泉南教会

大阪府泉南市樽井 9-2-8

9:30 : 平和祈願ミサ

講演 「福音を生きる - 隣人に仕える心で平和を築く」

講師 イポリト・ヴィダ神父



アクセス

《電車》

南海本線「樽井」駅 徒歩 1.5 km 18分

JR「和泉砂川」駅 徒歩 1.3 km 16分

《車》

国道26号線、泉南市役所南交差点より北へ2分

連絡先 奥野 ☎090-7114-1936



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



2025年 平和を祈る集い

戦争はもういない

岸和田教会では、中東・ウクライナ・世界各地の苦しむ家族たちに思いを向けられる
教皇レオ14世の心を受け継ぎ、困難を支え、戦争に苦しむ家族、子供たちの平和を祈る集いを
8月3日（日）に行います。地域の皆さん、この祈りの集いにご参加の程よろしく申し上げます。

「プログラム：平和を祈る集い」

テーマ：戦争に苦しむウクライナ、パレスチナ・ガザ地区の家族、子供たちのために☒

1. 広島テレビNEWSドキュメント「前ローマ教皇フランシスコからのメッセージ」
2. イスラエル、パレスチナ紛争の影響を受けるレバノンの現況を当教会の
レバノン人信徒の報告
3. 平和のロザリオの祈り（一連）

ロザリオは、カトリック教会が聖母への祈りを繰り返し唱える際の祈りのことです。

4. 平和の鐘が鳴る



日時：8月3日（日）午前11時～正午

場所：カトリック岸和田教会 聖堂（2F）

TEL :072-437-3308

平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



「パレスチナ問題」勉強会

～ガザについてゼロから学び分かち合います～

カトリック浜寺教会 聖堂 2025 / 7 / 27 (日)

9:30 主日のミサ

10:30 初めの祈り

10:35 ・パレスチナ問題について ユダヤとパレスチナの歴史を学び
・ガザの現状について ※事前学習した信徒によるPowerPoint資料投影しての学びの共有になります

11:00 グループに分かれて分かち合い

11:25 終わりの祈り

12:00 終了



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～
Let's be Pilgrims of Hope and Peace
-A path to walk with people who suffer and grieve-



岸和田地区 いずみブロック 和泉教会

ガザの話を聞こう!

日時：8月10日(日)

9時30分～平和祈願ミサ

10時30分～「ぶどうの木」の平和の祈り

10時40分～ガザを伝える講演会

講師：西口信幸(シナピス運営委員)

講演会終了後 ママの店

そうめんとケーキセット 500円



《会場》

カトリック和泉教会
和泉市伯太町2-2-41
電話 0725-41-5768

《アクセス》

JR阪和線/関西空港線、
和泉府中駅で下車
駅から「和泉中学校」方面へ、
徒歩約1km



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



カトリック貝塚教会

2025年8月3日(日)午前8時30分

テーマ: インドネシア最後の元日本兵
小野盛さん死亡、94歳でした
(2014年8月25日)。

ミサ中、平和の動画を見て、
お祈りを捧げます。



カトリック貝塚教会

597-0071 貝塚市加神1-3-12

phone: 072-422-5639

貝塚南海駅から700メートル



+

熊取平和旬間2025

8月10日(日)



10時30分 平和祈願三サ

Denny Wahyudi神父

11時30分 平和へのメッセージ

～気がつけば平和にそむいた

キリスト者たちへ

川崎洋一さん(熊取教会信徒)

11時50分 共同体でささげる

ロザリオの祈り

その後、茶話会

終了予定12時40分

+

希望と平和の
巡礼者に
なろう



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



平和祈願ミサ

日時 2025 年8月10 日(日曜日) 9時

会場 カトリック泉佐野教会

平和旬間行事

故フランシスコ前教皇さまのメッセージの朗読を聴き
世界の人々の苦しみと身近な人の苦しみに思いをよせて
みんなで平和への願いをこころをこめて折ります



会場 カトリック泉佐野教会

住所 598-0004 泉佐野市市場南2-77

電話 072-463-2971

アクセス

- 電車 最寄駅：J R 熊取駅(約1.2km)
各駅(泉佐野・熊取・日根野)から徒歩約20分
- バス 南海泉佐野駅から 大阪体育大学行
「だんばら公園前」下車640m
- 車 ・国道26号線「市役所前」交差点から
市役所方面へ、市役所横交差点を右折
次の交差点を右折して400m右折
・国道30号線(通称I3号線)
「ダンバラ公園前」の交差点を曲がり
次の信号を左折して100m左折



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



つながう 平和への思い

平和祈願ミサ

8/10 日

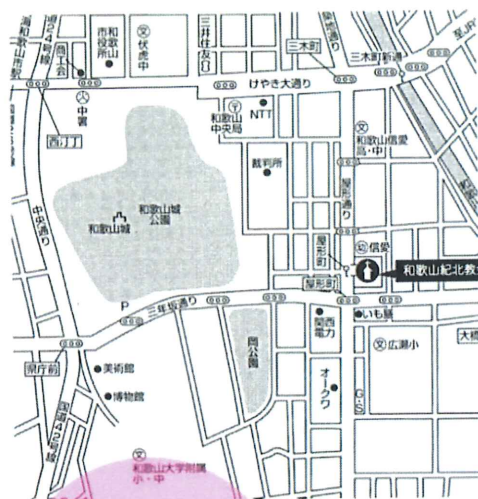
場所：屋形町聖堂
10:00～合同ミサ

平和の集い

11:30～ 信徒会館ホール

《過去の戦争 今の戦争
その始まりは…》

話そう、大切なこと。



和歌山紀北教会
平和月間行事

2025

平和を祈るコンサート

～ 朗読と共に～



日時：2025年8月2日(土) 13:30～

場所：番町カトリック教会

平和を祈るコンサート

～ 朗読と共に～

【第一部】

「ヒロシマの空」

作 林 幸子

朗読 桂 典子

「Ave Maria」

作 Caccini

他

歌 河合まゆみ

伴奏 田家智香子

【第二部】

「Love begins today」

カトリック聖歌メドレー

フルート 松浦信行神父

ピアノ 相葉いずみ

「ひまわり」 連弾

「涙そうそう」

平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-





希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



徳島地区平和月間 講演会

講演会テーマ

『希望の中をともに歩もう』

★ Sr.マリア・ラン プロフィール ★

- 1963年 ベトナムの高原都市ダラット市で生まれる。
(1950年～1975年 ベトナム戦争)
- 1988年 大学を卒業するもベトナム政府による管理下では仕事も自由もなかった。
- 1989年 小さな漁船でベトナムを脱出。
日本の貨物船に救助されフィリピンの難民キャンプで生活。カトリックに入信する。
- 1990年 日本へ。難民収容所や救助センターを経て就職。
- 2000年～2002年 『あかつきの村』でボランティア。
- 2002年 ビンセンシオ・ア・パウロ愛徳姉妹会に入会。
釜ヶ崎、埼玉教区川口教会で支援活動に従事。
- 2023年 愛徳姉妹会『釜ヶ崎のヨゼフハウス』へ転任。

『ボートピープルからシスターへ』
ビンセンシオ・ア・パウロ愛徳姉妹会の
Sr.マリア・ランをお迎えし、ご自身の
難民としての体験、愛徳姉妹会へ入会し
てからの難民支援活動など、苦しむ人、
悲しむ人と共に歩んで来られた半生を
お話頂きます。



「闇に光を」これが神様
から頂いた私の使命！

ウクライナ人の
ソコロバ・オレナさんは
故郷ドンバスのことを分
かち合ってくれます。



日 時 8/13(水) (9:30 開場) 10:00～12:00

場 所 カトリック徳島教会 (聖堂・信徒ホール)

徳島本町2丁目12番地

(お問合せ TEL 088-626-2060)

交 通 JR 徳島駅から1200m

市バス(沖洲方面)乗車6分城東高校前下車1分

●講演会

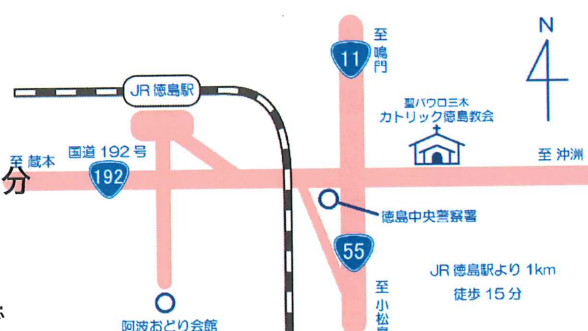
テーマ『希望の中をともに歩もう』

※講演会のみ参加も歓迎です。午後から昼食を挟んで

●霊的分かち合い 13:00～14:15

●平和祈願ミサ 14:30～15:30

至 吉野川大橋 徳島インター



至 徳島県庁



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



平和祈願ミサと上映会

ながさき いの
「長崎の祈り—

みず はこ ひとびと みちび
水がめを運ぶ人々に導かれて—」

2021 年 5 月 NHK「こころの時代」より

じょうえいかい ふるすしんぶ じしん たいけん まず ちい ひとびと みず はこ じつれい
上映会では古巣神父がご自身の体験から、貧しく小さな人々が水がめを運んでいる実例を
むじょうけん あいて う い ころ あかし へいわ つな ひとびと かた
あげ、無条件で相手を受け入れる心を証した平和に繋がる人々について語っています。



※ 駐車場は台数が限られています。
出来れば、公共交通をご利用ください。

ばしよ か とり っく なかじまちょうきょうかい し ら ゆ り かい かん
場所：カトリック中島町教会 白百合会館

に ち じ ねん が つ に ち に ち
日時：2025年7月27日(日) 平和祈願ミサ9時半～・ミサ後上映会



希望と平和の巡礼者となろう
～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



高知地区 江ノ口教会 平和月間行事

日時：8月3日（日）9:30～12:00

場所：江ノ口教会 聖堂 （JR 高知駅北口から西へ徒歩 3 分）

内容：平和祈願ミサと霊における会話の形での分かち合い

「戦争と平和を考える資料展」 6/28(土)～7/8(火) 自由民権記念館
を見学し、その感想等を基に、ミサ後、霊における会話の形での分かち
合いを行います。

「戦争と平和を考える資料展」

2025 ピースウェイブ in こうち実行委員会が主催する各種イベントのひとつ

2025 ピースウェイブ in こうち実行委員会事務局：平和資料館・草の家

後援：高知市教育委員会 公益財団法人 高知市文化振興事業団 他

連絡先：江ノ口教会 088-872-2277

＜大阪高松教区行事案内-2＞

神戸地区

◆洲本 ☎0799-24-5144

8/10(日) 10時～ 第1部 平和祈願ミサ
(ミサの中で、一人一人の平和への思いを書いたものを捧げる)

第2部 短編アニメ上映会

◆明石 ☎078-911-6330

8/5(火)～8/6(水)

中高生広島巡礼(幟町教会ほか)

中学生、高校生を中心に平和について勉強する機会を持つ

◆たかとり ☎078-731-8300

7/13(日) 9時ミサのあと 外国籍の方のお話を聞き、分かち合う～愛と一致に満ちた教会をめざすために、お互いを知ろう～

◆三田 ☎079-562-4404

8/10(日) 9時半～ミサ 10時半から30分程度 お話し会(所属信徒による戦後80年と教会についてのお話)

◆住吉 ☎078-851-2756

7月中旬～8月「祈りの花束」～信徒それぞれの「平和の祈り」を展示～

「90周年を迎えて」～90年の歩みの中での「平和への取り組み」について写真と文を展示～

8/3(日) 9時30分～平和祈願ミサ

阪神地区

◆宝塚 ☎0797-72-4628

8/31(日) 9時30分～平和祈願ミサ

◆伊丹 ☎072-772-2487

7/27(日) 9時30分～

平和を求めるために多くの人と共に歌い、祈り、ミサを捧げる。

ミサの中で一緒に歌う。

ミサの後にミニコンサートを行う

◆園田 ☎06-6491-4424

8/3(日) 9時～平和祈願ミサ ミサ後「すべては神様から創られた」という絵本をプロジェクターでスクリーンに映し出し、朗読する。終了後に平和について考える。

大阪北地区

◆大阪梅田 ☎06-6225-8871

7/17(木) 19時～ 平和の祈り「サクラファミリア<祈りのよる>」とともに
於：サクラファミリア

大阪南地区

◆平野 ☎06-6709-1541

8/10(日) 9時30分～ 平和祈願ミサ

◆藤井寺 ☎072-955-4743

8/10(日) 9時30分～平和祈願ミサ
平和についての共同祈願を唱える

(於：仮聖堂/カトリック藤井寺幼稚園)

◆橋本 ☎0736-32-0596

8/9(土) 17時～平和祈願ミサ

7-8月 各自で「聖フランシスコの平和の祈り」を唱える

平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-



<大阪高松教区行事案内-2>

◆布施 ☎06-6721-6214

8/3(日) 9時30分～「しではら(門真市が生んだ日本の総理:戦前戦後 日本の平和外交に尽力した)」上映会

◆八尾 ☎072-999-1149

8/3(日) 10時～平和祈願ミサ

子供会で平和について学び、作品を作り奉納する ベトナムのボートピープルの体験談をビデオ作成して、みんなで見て分かち合う

和歌山地区

◆和歌山紀北(屋形町・古屋・今福・海南)

☎073-425-1069 (屋形町聖堂)

8/10(日) 10時～平和祈願ミサ 11時半～平和のつどい「つなごう 平和への思い」～過去の戦争 今の戦争 その始まりは・・・～/テーマに即して、これまでの戦争体験談や詩、またDVD『戦争のつくりかた』などを持ち寄り、分かち合いのときを持つ。於：和歌山紀北教会信徒会館ホール

◆紀南ブロック合同

ひとつの大きな平和のロウソクを準備してそのロウソクを灯して平和祈願ミサを行う。そのロウソクをリレーのように5つの教会を移動させて平和を願い祈る。

7/6(日) 新宮→7/13(日) 串本→

7/20(日) 田辺→7/27(日) 龍神→

8/3(日) 御坊→田辺

◆紀伊田辺 ☎0739-22-0281

6/1-9/6 聖堂の一角に沖縄戦パネル展示

7/20(日) 11時～Amnesty Japan を

迎えての社会問題勉強会 於：紀伊田辺教

会ログハウス

8/15(金) 19時～ 平和祈願ミサ

◆御坊 ☎0738-22-3457

8/15(金) 9時～ 聖母被昇天祭ミサ

平和祈願ミサ 死者の為の祈念祭

◆新宮 ☎0735-22-3260

8/15(金) 19時～ 平和祈願ミサ

香川地区

◆三本松 ☎0879-25-3871

8/15(金) 聖母被昇天ミサ 平和祈願ミサ

終了後(11時予定) ルルド前にてロザリオの祈り その後、戦後80年を迎えて、戦争中戦後の体験談を語っていただく(聖堂)

◆伊予三島 ☎0896-24-6148

8/10(日) 16時～ 平和祈願ミサ

高知地区

◆中村 ☎0880-34-8879

8/17(日) 11時～ 平和祈願ミサ

愛媛地区

◆今治 ☎0898-32-2348

8/3(日) 10時～平和祈願ミサ

平和を願う折り鶴 DVD「今治市の空襲と戦災」の上映

8/6(水) 9時30分～今治空襲、戦災死没者追悼献花と平和の鐘を鳴らす式典への参加 於：別宮山南光坊

平和月間 2025 大阪高松大司教区



希望と平和の巡礼者となろう

～苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～

Let's be Pilgrims of Hope and Peace

-A path to walk with people who suffer and grieve-

